

ひるげよう地域安全まちづくり

マモリンレポート

地域とともに築く、安全安心なまちへ

灘防犯協会六甲登山口支部（灘区）



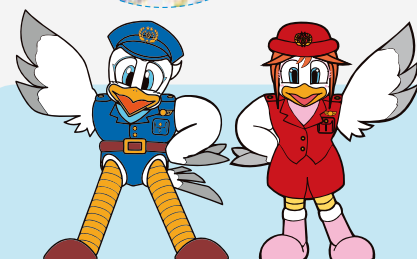
地域実態に即した防犯活動

宝塚千種ヶ丘自治会（宝塚市）



アプリになってリニューアル！

ひょうご防犯ネット+（プラス）

兵庫県警察から犯罪情報や防犯情報・交通事故情報などを配信するアプリを
2025年2月26日（水）にリリース！防犯ブザーや
音声を鳴らして
不審者を警告！防犯シグナルで
警戒度がひとめで
わかる多発 情報
発生 情報
注意 情報配信した犯罪等の
種別をアイコンで
分かりやすく表示重点エリアを
確認しながらパトロールして
ポイントをゲット！配信情報は
プッシュ通知で
お知らせApp Store
からダウンロードGoogle Play
で手に入れよう

ひょうご防犯ネット+



兵庫県警察本部 生活安全企画課 犯罪抑止対策室 ☎ 078-341-7441

発行：ひょうご地域安全まちづくり推進協議会事務局

〒650-8567

神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県県民生活部くらし安全課内

電話 (078) 362-3173 FAX (078) 362-4465

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会とは

犯罪の防止その他安全で快適な暮らしを目指すための県民運動を推進し、犯罪のない安全で安心な兵庫県を実現するため、地域団体をはじめ、事業者や行政機関等で構成された協議会です。
 （このマモリンレポートは、当協議会の会員である兵庫県パチンコ・パチスロ協同組合の支援を得て作成しました。）





地域とともに築く、 安全安心なまちへ

～ 灘防犯協会六甲登山口支部 ～

地域の目を活かしたパトロール活動

当支部の活動区域は、六甲山のふもとに広がっており、地域内には六代目山口組の本部も所在しています。南北に広い地形のため坂道が多く、メンバーの高齢化も進んでいることから、徒歩によるパトロールが難しくなっているという課題がありました。そこで、「日常の中で無理なくできる見守り活動はないか」と考え、地域に愛犬家が多いことに着目しました。犬の散歩をしながら地域を見守ることで、自然と見守りの目が増え、不審者の抑止や地域の安心安全につながるのではないかと考えたのです。この活動を「わんわんパトロール」と名付け、各自治会長に協力を依頼して募集チラシを配付し、隊員の募集を行いました。その結果、現在では約50匹のわんちゃんが登録されており、朝・昼・晩と散歩をしながら地域や子どもたちを見守ってくれています。

登録者には、「わんわんパトロール」と記されたリフレクター（反射材）も配付し、活動中であることが周囲にも分かるようにしています。犬を飼っている世帯は、年齢層も幅広く、飼い主同士の口コミによって活動が広がり、若い世代の参加にもつながっています。

また、その他の取り組みとして、広い活動範囲をカバーするために週1回のペースで、青色防犯パトロール車を使った巡回も実施しています。



犯罪抑止に向けた環境作り



当支部では、犯罪の抑止を目的として防犯カメラや防犯灯の設置を積極的に推進しています。特に防犯カメラや私道への防犯灯の新規設置に対しては、自治会に2万円の費用を助成しており、地域の安全対策を支援しています。また、定期的なパトロールの際には、これらの設備が問題なく運用されているかも確認しています。

令和5年には、地域の自治会と協力し、防犯灯全140台中、100台をLEDに切り替えました。これにより住民からは、「街が明るく見通しが良くなった」という声が寄せられ、車上ねらいや不法投棄などの犯罪の抑止にもつながっています。さらに、他の活動として灘警察署や各支部と連携し、駅前や商店街などの人通りが多い場所を実施する「交通安全キャンペーン」や「特殊詐欺被害防止キャンペーン」にも積極的に参加しています。

今後も、地域の安全と安心を守る活動を継続していきます。

グループの紹介

青色防犯パトロール車でのパトロール活動に加え、住民にも「わんわんパトロール」等を通じた見守り活動を依頼する等、地域全体の防犯意識の向上に尽力されています。

このような活動が評価され、「令和6年度地域安全まちづくり活動賞」を受賞しました。



地域実態に即した 防犯活動

～ 宝塚千種ヶ丘自治会 ～

安全・安心な暮らしを地域でつくる

宝塚千種ヶ丘自治会は、約700世帯が暮らす地域で、宝塚市内でも特に高齢化が進んでいます。そんな中、地域全体で防犯意識を高める取り組みとして、全世帯を班に分けて、月に2回の防犯パトロールを実施しています。夏季のパトロールは、熱中症対策として夜間に行い、宝塚市から配付された「タスキ」「カチカチ棒」「防犯情報を録音したエンドレステープ」を持って地域を巡回します。また、夏休み期間中には子どもたちもパトロールに参加し、地域の安全を守る活動と一緒に取り組んでいます。新しく転入された世帯の中には、地域活動への参加に不安を感じる方もいらっしゃいますが、当自治会ではそうした方々にも声をかけ、安心して参加できるよう工夫しています。



パトロールの後には、宝塚警察署や宝塚市から提供を受けた最新の情報をもとに作成した、防犯資料やステッカー等を配付し、犯罪情報を共有する勉強会を実施しています。これからも、地域の皆さんと協力しながら、安全で安心なまちづくりを進めていきます。



各機関と協力して築く安全なまちづくり

当会は、千種ヶ丘1丁目から4丁目までの地域を活動エリアとして、防犯対策に力を入れています。

このエリアには現在計8台の防犯カメラが設置されています。8台のカメラは、交通事故が発生しやすい場所や、空き巣などの犯罪者が逃走する可能性のあるルートを考慮し、宝塚市と連携して設置したり、自治会独自でも設置しました。

また、近年増加している特殊詐欺への取組では、宝塚警察署と協力し、8月12日から10月14日までの間の64日間、特殊詐欺被害ゼロ運動に取り組みしました。

期間中は、「特殊詐欺の電話は無視（64（むし））します」をスローガンに掲げ、700世帯に被害防止ステッカーを配付するなどし、住民の防犯意識を高めることができ、結果として64日間、当会内での特殊詐欺被害ゼロを達成することができました。

今後も警察や市と連携しながら、タイムリーな情報共有と防犯活動を通じて、地域の安全を守っていきます。



グループの紹介

市、警察、防犯協会等との連携を緊密にして、犯罪発生状況に即した各種防犯活動を実施されています。また、警察や新聞記事等から収集した情報を元に独自で防犯資料や防犯ステッカー等を作成・配付する等、積極的に活動されています。このような活動が評価され、「令和6年度地域安全まちづくり活動賞」を受賞しました。

